



デバイスとサービスのオンボーディング

ライブデバイスとモデルデバイスの両方を CDO に導入準備できます。モデルデバイスはアップロードされた構成ファイルであり、CDO を使用して表示および編集できます。

ほとんどのライブデバイスおよびサービスでは、Secure Device Connector が CDO をデバイスまたはサービスに接続できるように、オープンな HTTPS 接続が必要となります。

SDC とそのステータスの詳細については、[Secure Device Connector \(SDC\)](#) を参照してください。

この章は、次のセクションで構成されています。

- [Meraki MX の Defense Orchestrator へのオンボーディング \(1 ページ\)](#)
- [Defense Orchestrator への Meraki テンプレートのオンボーディング \(4 ページ\)](#)
- [Firepower の接続ログイン情報の更新 \(6 ページ\)](#)
- [CDO からデバイスを削除 \(6 ページ\)](#)

Meraki MX の Defense Orchestrator へのオンボーディング

MX デバイスは、Cisco Defense Orchestrator (CDO) と Meraki ダッシュボードの両方で管理できます。CDO は、設定の変更を Meraki ダッシュボードに展開します。これにより、設定がデバイスに安全に展開されます。

始める前に

- [管理対象デバイスへの Cisco Defense Orchestrator の接続](#)を確認してください。
- [CDO と Meraki の通信方法](#)を確認してください。
- まず、Meraki ダッシュボードで Meraki MX を登録する必要があります。Meraki ダッシュボードへのアクセス権がないと、組織は Meraki クラウドによって認識されず、デバイスをオンボードするための API トークンを生成できません。
- CDO は、ホストに関連付けられたすべてのビットをゼロにすることにより、無効な CIDR プレフィックス表記の IP アドレスと IP アドレス範囲を有効な形式にサイレントに変換します。

- Meraki MX デバイスまたはテンプレートのオンボーディングでは、Secure Device Connector (SDC) を介した接続は必要なくなりました。すでにオンボードされ、SDC を使用して CDO に接続している Meraki MX デバイスがいくつかある場合、デバイスを削除して再びオンボードするか、[接続ログイン情報を更新](#)しない限り、その接続は引き続き機能します。
- MX デバイスを CDO で管理するために Meraki クラウドに接続する必要はありません。MX デバイスがクラウドに接続したことがない場合、デバイスの接続は到達不能としてリストされます。これは正常な状態であり、ポリシーを管理する機能やこのデバイスにポリシーを展開する機能には影響しません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Meraki MX デバイスをオンボードするときは、Meraki API キーを生成する必要があります。このキーでダッシュボードを認証し、デバイスを安全にオンボードすることができます。「 Meraki API キーの生成と取得 」を参照してください。	
ステップ 2	API キーを使用して Meraki デバイスを CDO にオンボードします。	

Meraki API キーの生成と取得

以下の手順に従って、API アクセスによる CDO の Meraki ダッシュボードへのアクセスを有効にします。

始める前に

[Meraki MX の Defense Orchestrator へのオンボーディング \(1 ページ\)](#) に関する注意事項と前提条件を確認します。

- ステップ 1 Meraki ダッシュボードにログインします。
- ステップ 2 ナビゲーションパネルで、[組織の設定 (Organization Settings)] をクリックします。
- ステップ 3 [ダッシュボード API アクセス (Dashboard API Access)] で、[Cisco Meraki ダッシュボード API へのアクセスを有効にする (Enable access to the Cisco Meraki Dashboard API)] をオンにします。このオプションをオンにしないと、MX デバイスを CDO にオンボーディングするための API キーを生成できません。
- ステップ 4 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。
- ステップ 5 Meraki ダッシュボードで、画面の右上隅にあるユーザー名をクリックし、[マイプロフィール (My Profile)] をクリックします。
- ステップ 6 API アクセスヘッダーを見つけて、[新しい API キーの生成 (Generate new API key)] をクリックします。この API キーをコピーします。使用する準備ができるまで、一時的にメモに貼り付けることをお勧めします。API キーを貼り付ける前にコピー元を閉じると、コピーした API キーが失われます。

(注) デバイスごとに必要な API キーは 1 つのみです。新しいキーを生成せずに、Meraki デバイスを再オンボーディングできます。

次のタスク

「[CDO への MX デバイスのオンボード](#)」に進みます。


CDO への MX デバイスのオンボード

次の手順を使用して、Cisco Meraki デバイスをオンボードします。

始める前に

[Meraki API キーの生成と取得 \(2 ページ\)](#)。

ステップ 1 ナビゲーションウィンドウで、[インベントリ] をクリックします。

ステップ 2 青色のプラスボタン  をクリックし、[Meraki] タイルをクリックします。

ステップ 3 このデバイスが通信する [Secure Device Connector \(SDC\)](#) を選択します。デフォルトの SDC が表示されますが、青色の [変更 (Change)] リンクをクリックして変更できます。

ステップ 4 コピーした API アクセスキーを貼り付けます。キーが不完全または正しくない場合、デバイスをオンボードできません。[接続 (Connect)] をクリックします。

ステップ 5 ドロップダウンメニューを使用して、正しい [組織 (Organization)] を選択します。生成された組織のリストは、Cisco Meraki ダッシュボードから取得され、デバイスとテンプレートが含まれています。目的のテンプレートを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。

ステップ 6 ドロップダウンメニューを使用して、正しい [ネットワーク (Network)] を選択します。生成されたネットワークのリストは、Meraki ネットワークから取得されます。[選択 (Select)] をクリックします。

ステップ 7 必要に応じて、デバイスに固有のラベルを追加できます。後で、このラベルでデバイスのリストをフィルタリングできます。

ステップ 8 [続行 (Continue)] をクリックします。デバイスはオンボーディングプロセスです。完了すると、CDO によって [インベントリ] にリダイレクトされます。

関連情報

- [Meraki MX テンプレート](#)
- [Meraki テンプレートの CDO へのオンボーディング \(5 ページ\)](#)
- [CDO と Meraki の通信方法](#)
- [Meraki アクセス コントロール ポリシーの管理](#)
- [Meraki ネットワークオブジェクトまたはネットワークグループの作成または編集](#)

- Meraki サービスオブジェクトまたはサービスグループの作成または編集

Defense Orchestrator への Meraki テンプレートのオンボーディング

Meraki テンプレートは、単一のポリシーで複数の場所またはネットワークを管理するための優れた方法です。Meraki テンプレートは、Cisco Defense Orchestrator (CDO) と Meraki ダッシュボードの両方で管理できます。CDO は設定の変更を Meraki ダッシュボードに展開します。次いで Meraki ダッシュボードがテンプレートに設定を安全に展開します。詳細については、[CDO と Meraki の通信方法](#)を参照してください。



- (注) テンプレートを CDO にオンボーディングするには、まず Meraki ダッシュボードでテンプレートを作成する必要があります。Meraki ダッシュボードへのアクセス権限がないと、組織は Meraki クラウドによって認識されず、デバイスをオンボーディングするための API トークンを生成できません。詳細については、Meraki ダッシュボードで **[組織 (Organization)]** > **[設定テンプレート (Configuration Templates)]** をクリックし、「[設定テンプレートを使用した複数のネットワークの管理](#)」を参照してください。

Meraki テンプレートのオンボーディングには、次の 3 つの手順が必要です。

- ステップ 1** Meraki ダッシュボードでテンプレートネットワークを作成します。詳細については、『[Meraki Templates Best Practices](#)』を参照してください。
- ステップ 2** [Meraki API キーの生成と取得](#)。Meraki テンプレートをオンボーディングするときは、Meraki API キーを生成する必要があります。このキーでダッシュボードを認証し、デバイスを安全にオンボーディングすることができます。
- ステップ 3** [Meraki テンプレートの CDO へのオンボーディング](#)。

Meraki API キーの生成と取得

以下の手順に従って、API アクセスによる CDO の Meraki ダッシュボードへのアクセスを有効にします。

- ステップ 1** Meraki ダッシュボードにログインします。
- ステップ 2** ナビゲーションパネルで、**[組織の設定 (Organization Settings)]** をクリックします。
- ステップ 3** **[ダッシュボードAPIアクセス (Dashboard API Access)]** で、**[Cisco MerakiダッシュボードAPIへのアクセスを有効にする (Enable access to the Cisco Meraki Dashboard API)]** をオンにします。このオプションをオンにしないと、MX デバイスを CDO にオンボーディングするための API キーを生成できません。

ステップ 4 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。


ステップ 5 Meraki ダッシュボードで、画面の右上隅にあるユーザー名をクリックし、[マイプロフィール (MyProfile)] をクリックします。

ステップ 6 API アクセスヘッダーを見つけて、[新しいAPI キーの生成 (Generate new API key)] をクリックします。この API キーをコピーします。使用する準備ができるまで、一時的にメモに貼り付けることをお勧めします。API キーを貼り付ける前にコピー元を閉じると、コピーした API キーが失われます。

(注) テンプレートごとに必要な API キーは 1 つのみです。テンプレートの再オンボーディングに新しいキーを生成する必要はありません。

Meraki テンプレートの CDO へのオンボーディング

以下の手順に従って、Meraki テンプレートをオンボーディングします。

- ステップ 1** ナビゲーションウィンドウで [インベントリ] をクリックし、青色のプラスボタン  をクリックしてから、[Cisco Merakiに接続] をクリックします。
- ステップ 2** コピーした API アクセスキーを貼り付けます。キーが不完全または正しくない場合、デバイスをオンボードできません。[接続 (Connect)] をクリックします。
- ステップ 3** ドロップダウンメニューを使用して、テンプレート名として **ab Organization** を選択します。生成された組織のリストは、Meraki ダッシュボードから取得され、デバイスとテンプレートが含まれています。目的のテンプレートを選択し、[選択] をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じて、デバイスに固有のラベルを追加できます。後で、このラベルでデバイスのリストをフィルタリングできます。
- ステップ 5** [続行 (Continue)] をクリックします。デバイスはオンボーディングプロセスです。完了すると、CDO によって [インベントリ] にリダイレクトされます。テンプレートが CDO に同期されると、[インベントリ (Inventory)] ページにテンプレートに関連付けられたデバイスの名前が表示され、[デバイスの詳細 (Device Details)] ウィンドウにはテンプレートにバインドされたネットワークの数が表示されます。

関連情報

- [CDO と Meraki の通信方法](#)
- [Meraki アクセス コントロール ポリシーの管理](#)
- [Meraki デバイスに関連付けられるオブジェクト](#)
- [Meraki ネットワークオブジェクトまたはネットワークグループの作成または編集](#)
- [Meraki サービスオブジェクトまたはサービスグループの作成または編集](#)
- [Meraki MX の Defense Orchestrator へのオンボーディング](#)

Firepower の接続ログイン情報の更新

Meraki ダッシュボードから新しい API キーを生成する場合は、CDO で接続ログイン情報を更新する必要があります。新しいキーを生成する詳細については、[Meraki API キーの生成と取得 \(2 ページ\)](#) を参照してください。CDO では、デバイス自体の接続ログイン情報を更新することはできません。必要に応じて、Meraki ダッシュボードで API キーを手動で更新できます。ログイン情報を更新して通信を再確立するには、CDO UI で API キーを手動で更新する必要があります。



(注) CDO がデバイスの同期に失敗した場合、CDO の接続ステータスに [無効なログイン情報 (Invalid Credentials)] と表示されることがあります。その場合は、API キーを使用しようとした可能性があります。選択した Meraki MX の API キーが正しいことを確認します。

次の手順を使用して、Meraki MX デバイスのログイン情報を更新します。

- ステップ 1 ナビゲーションバーで、[デバイスとサービス (Devices & Services)] をクリックします。
- ステップ 2 [デバイス (Device)] タブをクリックしてから、[Meraki] タブをクリックします。
- ステップ 3 接続ログイン情報を更新する Meraki MX を選択します。
- ステップ 4 [デバイスアクション (Device Actions)] ペインで、[ログイン情報の更新 (Update Credentials)] をクリックします。
- ステップ 5 CDO がデバイスにログインするために使用する **API キー** を入力し、[更新 (Update)] をクリックします。この API キーは、変更されていない限り、Meraki MX のオンボードに使用したのと同じログイン情報です。これらの変更をデバイスに展開する必要はありません。

CDO からデバイスを削除

CDO からデバイスを削除するには、次の手順を使用します。

- ステップ 1 CDO にログインします。
- ステップ 2 [インベントリ (Inventory)] ページに移動します。
- ステップ 3 削除するデバイスを見つけ、そのデバイスの行でデバイスをチェックして選択します。
- ステップ 4 右側にある [デバイスアクション (Device Actions)] パネルで、[削除 (Remove)] を選択します。
- ステップ 5 プロンプトが表示されたら、[OK] を選択して、選択したデバイスの削除を確認します。[キャンセル (Cancel)] を選択して、デバイスをオンボードしたままにします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。